

2015年12月期 決算説明資料

カルナバイオサイエンス株式会社



証券コード : 4572

- 小野薬品工業株式会社との新たな大規模委受託契約及び共同研究契約締結に関するお知らせ（2月）
- 当社ホームページのリニューアル（2月）
- BTK阻害薬に係る米国特許商標庁からの特許査定通知受領のお知らせ（3月）
- 連結子会社の増資に関するお知らせ（3月）
- 韓国JCBio.Co., Ltdとの代理店契約締結に関するお知らせ（3月）
- 国立研究開発法人国立がん研究センターとの共同研究契約延長（5月）
- 第15回新株予約権（有償ストック・オプション）の発行（5月）
- TNIKキナーゼ阻害剤に係る米国特許商標庁からの特許査定通知受領（5月）

- 第14回新株予約権（メリルリンチ日本証券）の行使完了（5月）
- **ジョンソン・エンド・ジョンソンの医薬品部門米国ヤンセン・バイオテック社とのライセンス契約締結（6月）**
- CDC7/ASKキナーゼ阻害薬に係る中国特許庁からの特許査定通知受領（8月）
- 大阪府立大学と構造科学的手法を利用した新しい医薬品設計手法の開発を目的とした共同研究契約を締結（8月）
- 広島大学原爆放射線医科学研究所と慢性骨髄性白血病（CML）のがん幹細胞を標的とした治療薬開発に関する共同研究契約を締結（8月）
- 神戸大学と構造科学的プラットフォームを利用した新しい医薬品設計手法の開発を目的とした共同研究契約を締結（8月）

- 愛媛大学との新規治療標的分子の探索とその臨床応用を目的とした共同研究契約締結（10月）
- 子会社ProbeXが東京大学と分子イメージングに応用可能な新規発光分子プローブ法に関する技術開発の共同研究契約を締結（10月）
- 当社がJ-Stock Indexの構成銘柄に選定される（11月）

1月以降

- CDC7/ASKキナーゼ阻害薬に係る特許庁（日本）からの特許査定通知受領（1月）

- ✓ 売上高は、対前年同期比 156.5%増（対前期比957百万円増）
- ✓ 営業損益は、売上増、販管費圧縮等により 472百万円の黒字（対前期比1,107百万円の改善）
- ✓ 当期純損益は、営業損益の改善等により 456百万円の黒字（対前期比1,303百万円の改善）

（単位：百万円）

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
2015年12月期通期実績 (a)	1,569	472	492	456
2014年12月期通期実績 (b)	611	△634	△607	△846
対前年同期比 (c)=(a)-(b)	+ 957	+ 1,107	+ 1,099	+ 1,303
対前年同期増減率 (d)=(c)/(b)	+ 156.5%	—	—	—

(注1) 百万円未満は切り捨てして表示しております。

(注2) 対前年同期増減率における、「営業損益」「経常損益」「当期純損益」の値は前年同期においてそれぞれ損失を計上しているため数値を表示しておりません。

2015年12月期 事業別業績の概況



(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	創薬支援事業	創薬事業	計	創薬支援事業	創薬事業	計
2015年12月期 通期実績 (a)	954	614	1,569	412	60	472
2014年12月期 通期実績 (b)	611	—	611	50	△685	△634
対前年同期比 (c)=(a)-(b)	+342	+614	+957	+362	+745	+1,107
対前年同期増減率 (d)=(c)/(b)	+56.0%	—	+156.5%	+720.4%	—	—
2015年12月期 通期計画 (d)	917	614	1,532	398	△26	372
対通期計画達成率 (a)/(d)	104.0%	100%	102.4%	103.5%	—	—

(注1) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(注2) 営業損益における創薬事業、全社の対前年同期増減率および通期計画に対する達成率は、創薬事業の前年同期実績および計画値がマイナスのため表示しておりません。

(注3) 創薬支援事業の2015年12月期通期計画値は、2015年7月28日発表の通期修正計画に基づいております。

バランスシート状況 (連結)



(単位：百万円)

	2015年12月期	2014年12月期	増減額	増減理由
流動資産	1,995	907	+1,088	
現金及び預金	1,624	626	+998	
その他	370	280	+90	売掛金の増加等
固定資産	341	313	+27	クリスタルゲノミクス社株式評価増、有形固定資産減等
資産合計	2,337	1,221	+1,116	
流動負債	235	195	+40	1年内返済予定長期借入金+26、未払金△38、未払法人税等+31、未払消費税+20等
固定負債	231	195	+35	長期借入金+26等
負債合計	467	391	+75	
純資産合計	1,870	830	+1,040	資本金及び資本剰余金+547、利益剰余金+456等
負債・純資産合計	2,337	1,221	+1,116	

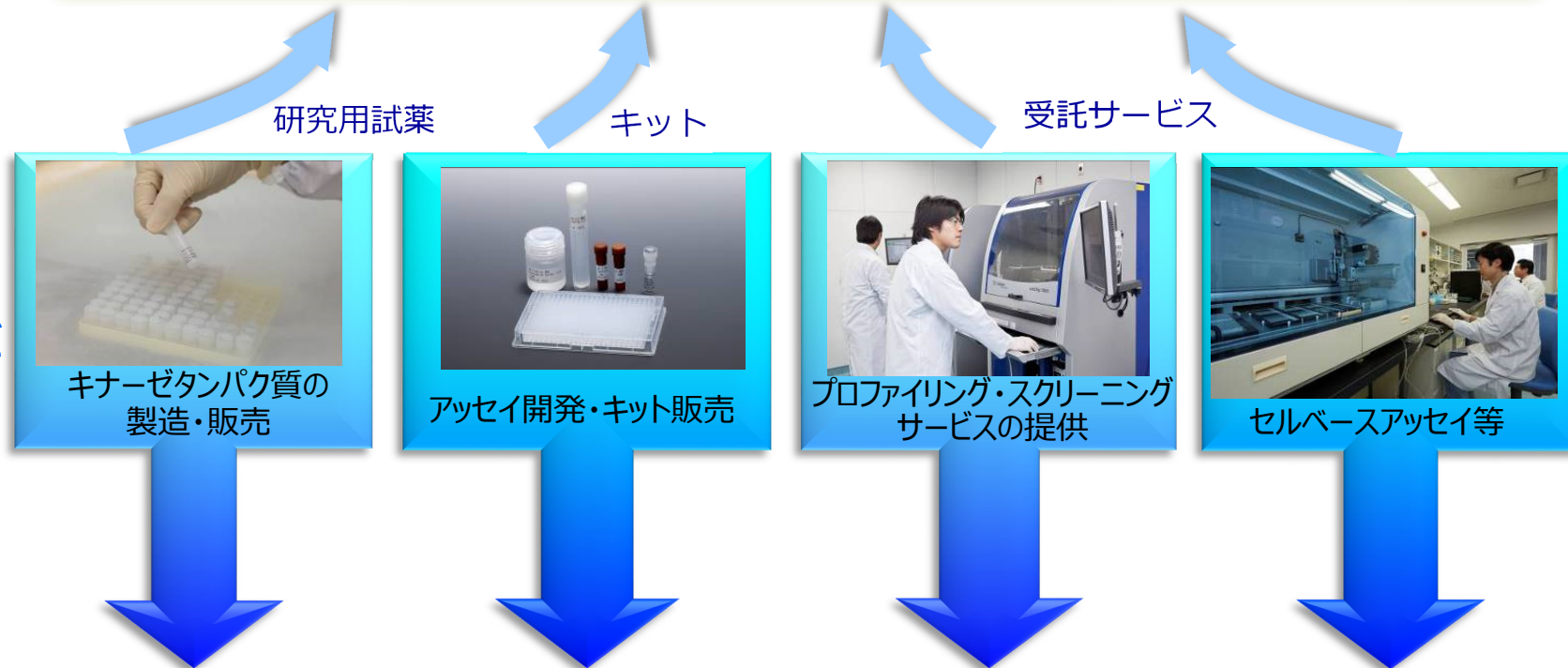
自己資本比率	79.7%	67.2%
一株当たり純資産	208.78円	98.69円
PBR(株価純資産倍率)	13.04倍	7.64倍
(参考) 当社株価	2,722円	754円

(注) 当社株価はJASDAQグロースにおける終値に基づいております。

顧客（製薬企業、バイオベンチャー、大学等）の創薬研究を支援する

創薬支援事業

- 安定収入
 - 営業CFを獲得できる基盤技術を有している
- ⇒当社の強み



創薬事業

- 先行投資を行っている
- 大きな成長、リターンを目指す

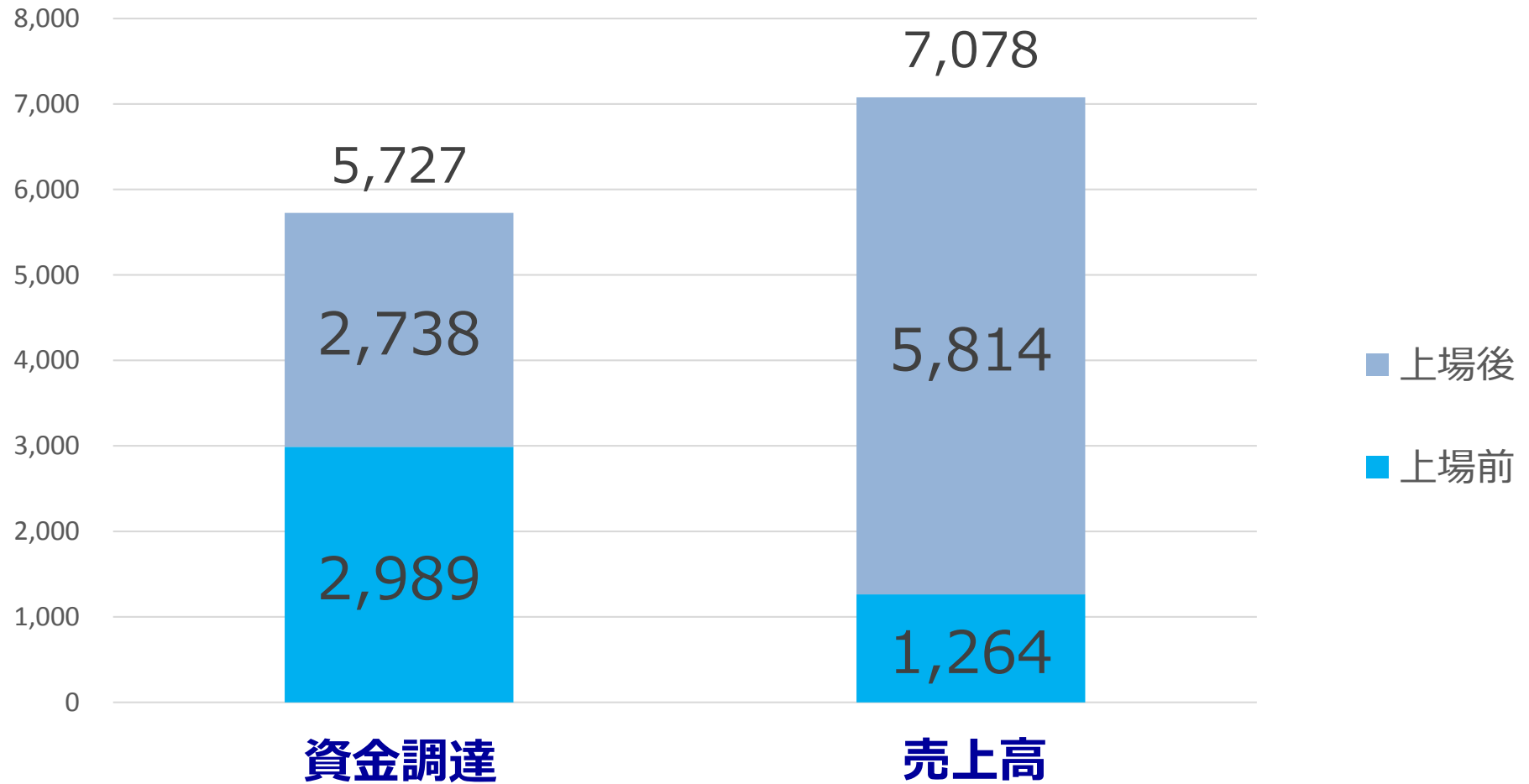
キナーゼ阻害薬の創薬

がん、免疫炎症疾患(リウマチ)などの治療薬



自社で画期的な新薬を開発する

創業以来の累計金額（単位：百万円）



	上場直前	2015/12末
発行済株式数(単元)	44,490	88,927

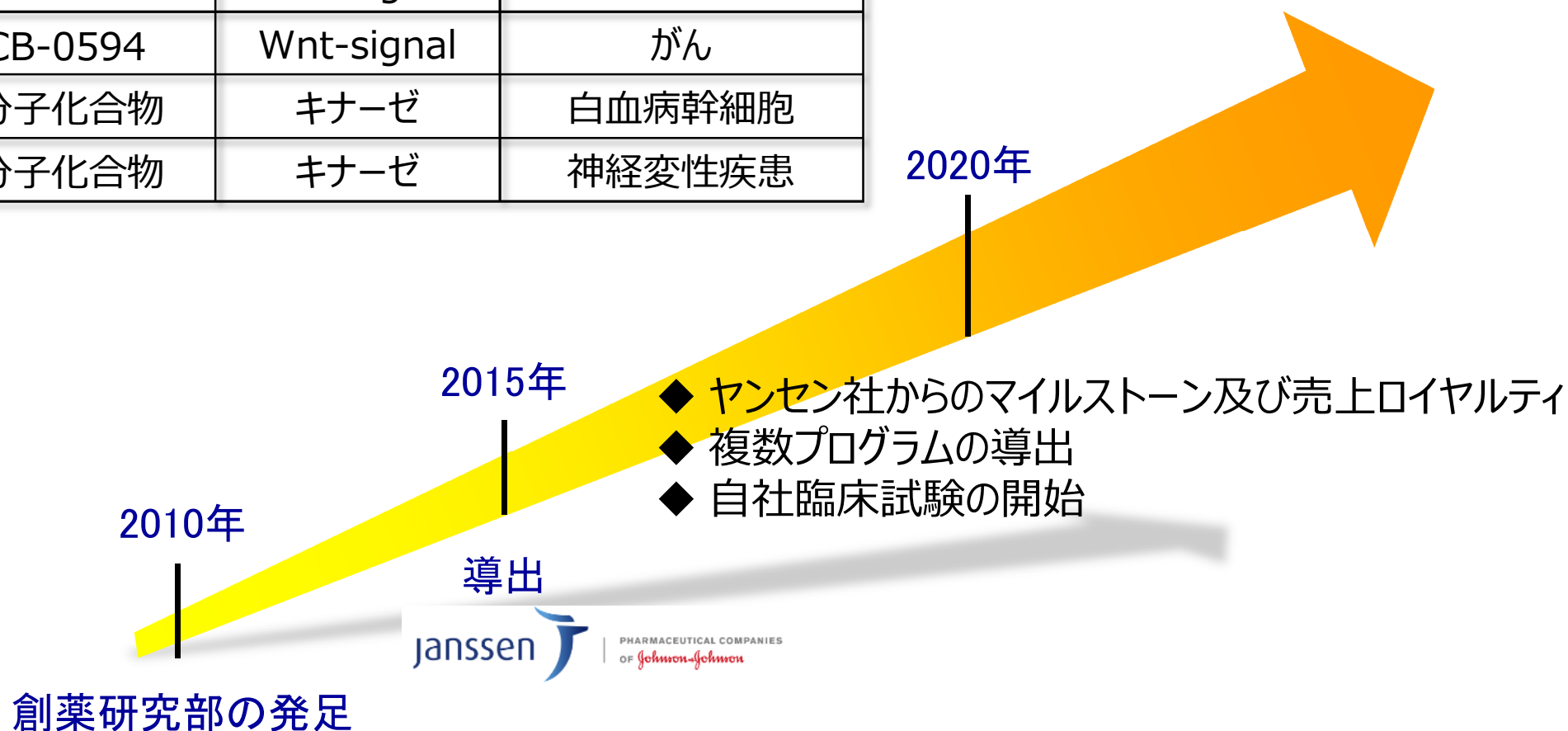
2015年12月末現在

化合物	標的 キナーゼ	対象疾患	研究開発・事業ステージ						
			リード化合物創製	化合物最適化	候補化合物の選択	前臨床試験	臨床試験	承認申請	上市
低分子化合物	キナーゼ	免疫疾患	 PHARMACEUTICAL COMPANIES OF 						
AS-141	CDC7/ASK	がん							
バックアップ化合物	CDC7/ASK	がん							
NCB-0846	Wnt-signal (TNIK)	がん							
NCB-0594	Wnt-signal (TNIK)	がん							
低分子化合物	キナーゼ	白血病幹細胞							
低分子化合物	キナーゼ	免疫炎症疾患							
低分子化合物	N/A	マラリア							
低分子化合物	キナーゼ	神経変性疾患							
低分子化合物	キナーゼ	貧血							

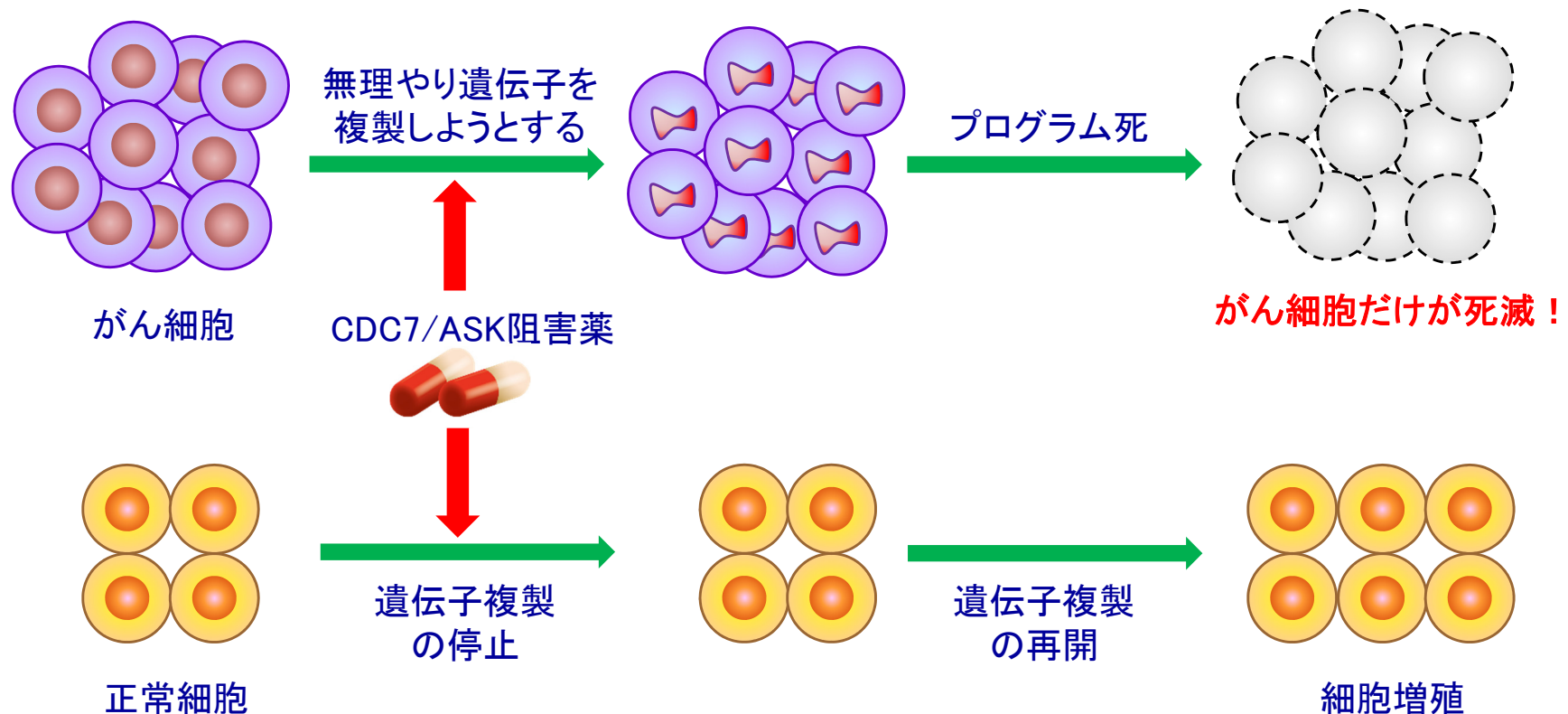
※ 国立がん研究センターとのNCB-0846の共同研究テーマであるTNIK阻害薬は、国立研究開発法人医薬基盤研究所の創薬総合支援事業「創薬ブースター」の支援課題に採択されております。

持続的な成長を約束する豊富な創薬パイプライン

化合物	標的キナーゼ	対象疾患
AS-141	CDC7/ASK	がん
NCB-0846	Wnt-signal	がん
NCB-0594	Wnt-signal	がん
低分子化合物	キナーゼ	白血病幹細胞
低分子化合物	キナーゼ	神経変性疾患

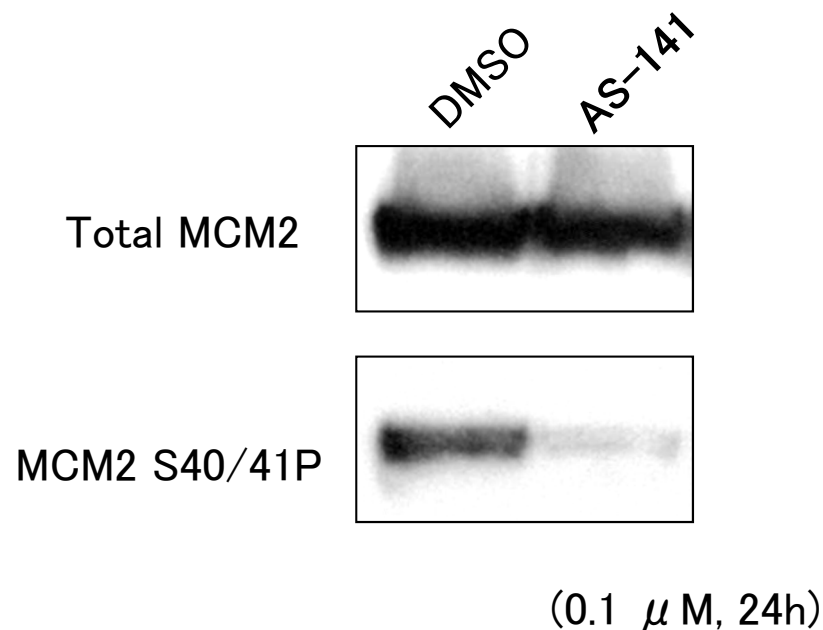


- ◆ CDC7/ASKキナーゼは、細胞周期の制御に重要な役割を担う
- ◆ CDC7/ASK活性を阻害すると、がん細胞のみが死ぬ
- ◆ 非常に副作用の少ない画期的ながん治療薬
- ◆ ファーストインクラスの薬剤
- ◆ 特定の遺伝子を狙っていないので様々ながんに応用可能



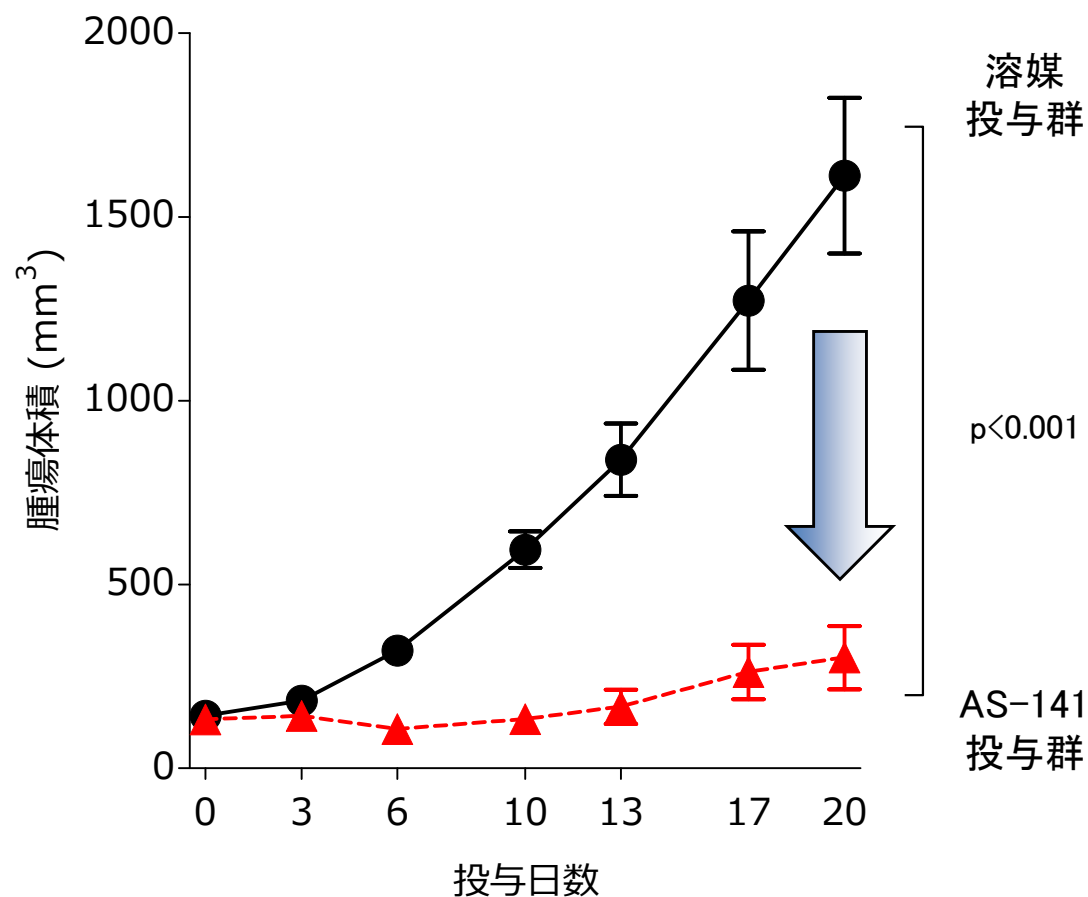
〈非常に強力で選択的なCDC7/ASK阻害薬〉

✓ 基質MCM2のリン酸化を低濃度で阻害



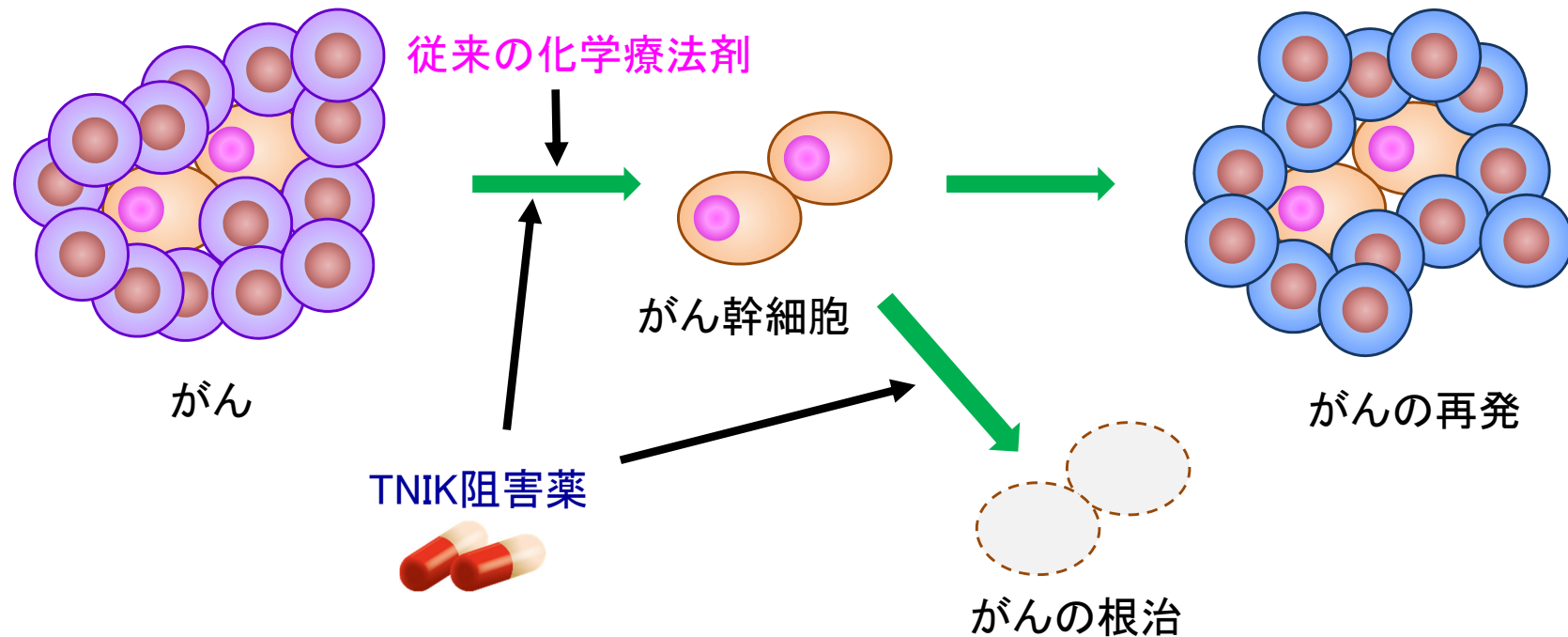
➤ 現在、各種GLP安全性試験の実施中

✓ 急性白血病細胞を用いた担癌マウスモデルにて強い抗腫瘍効果



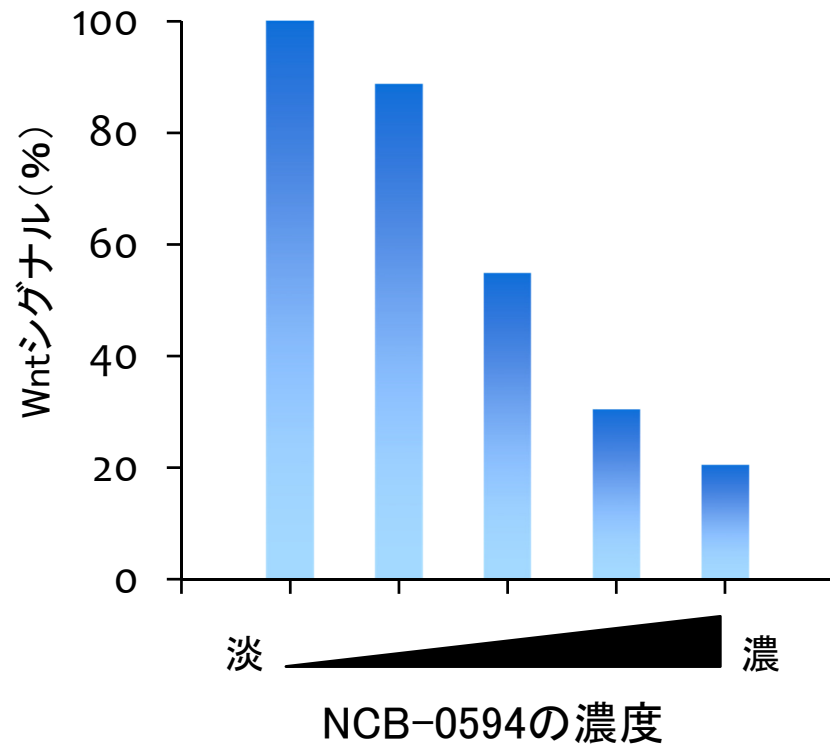
Wntシグナル阻害薬 (TNIK阻害薬)

- ◆ 様々なガンやガン幹細胞でWntシグナルが活性化されている
- ◆ TNIKキナーゼはWntシグナルの制御に深く関わっている
- ◆ ガン幹細胞を標的とすることで、ガンの根治が可能になる
- ◆ ファーストインクラスの薬剤

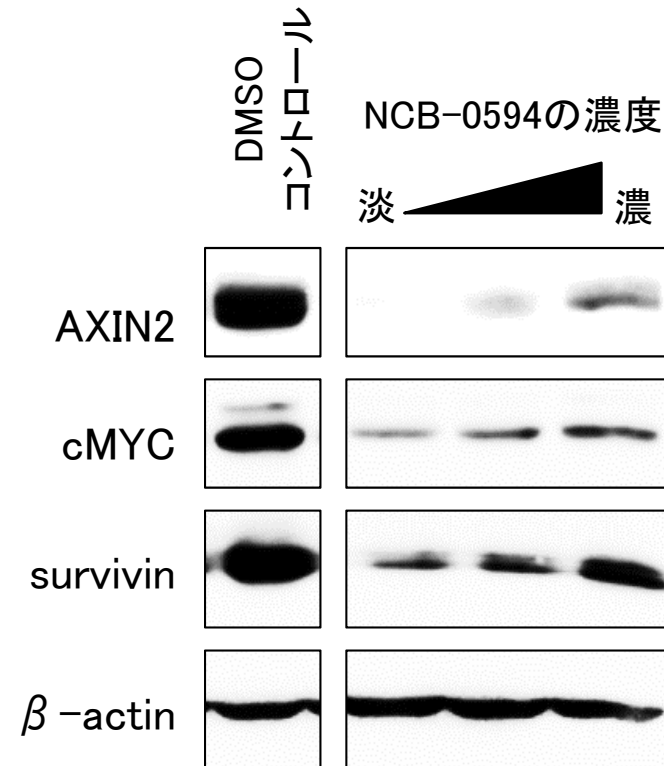


<非常に強力なWntシグナル阻害剤>

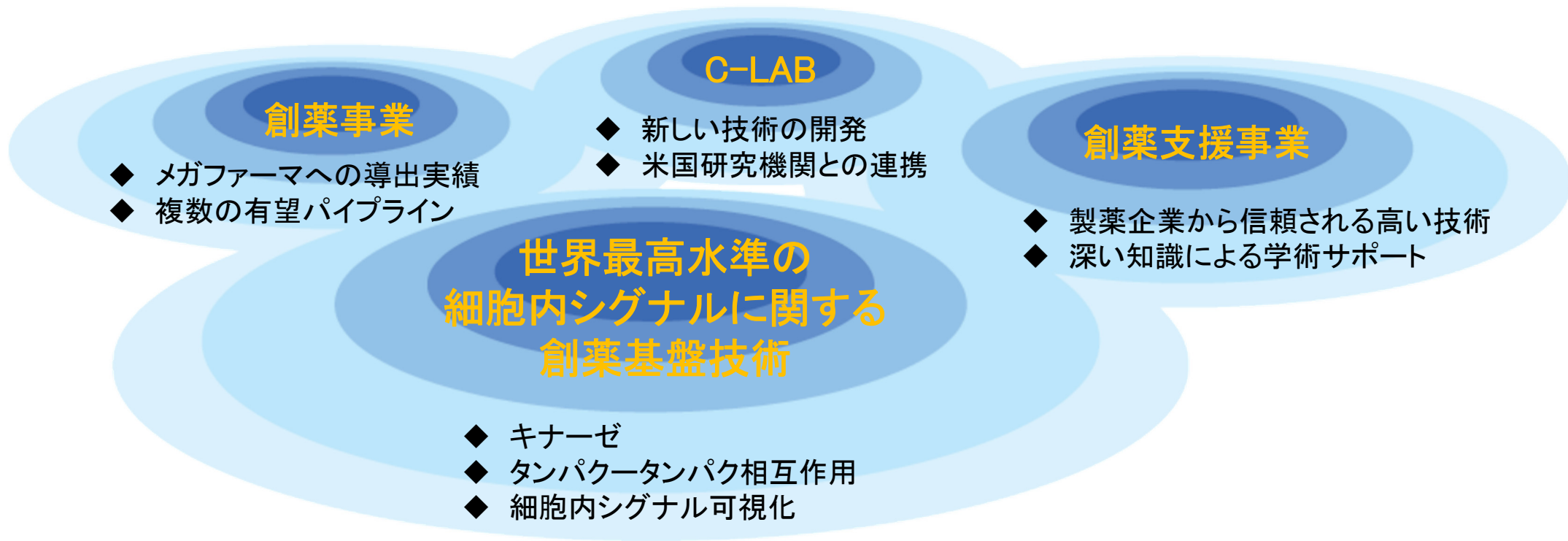
✓ がん細胞内のWntシグナルを強力に阻害



✓ Wnt標的たんぱく質の発現を抑制



➤ 現在、ステージアップに必要な研究を実施中

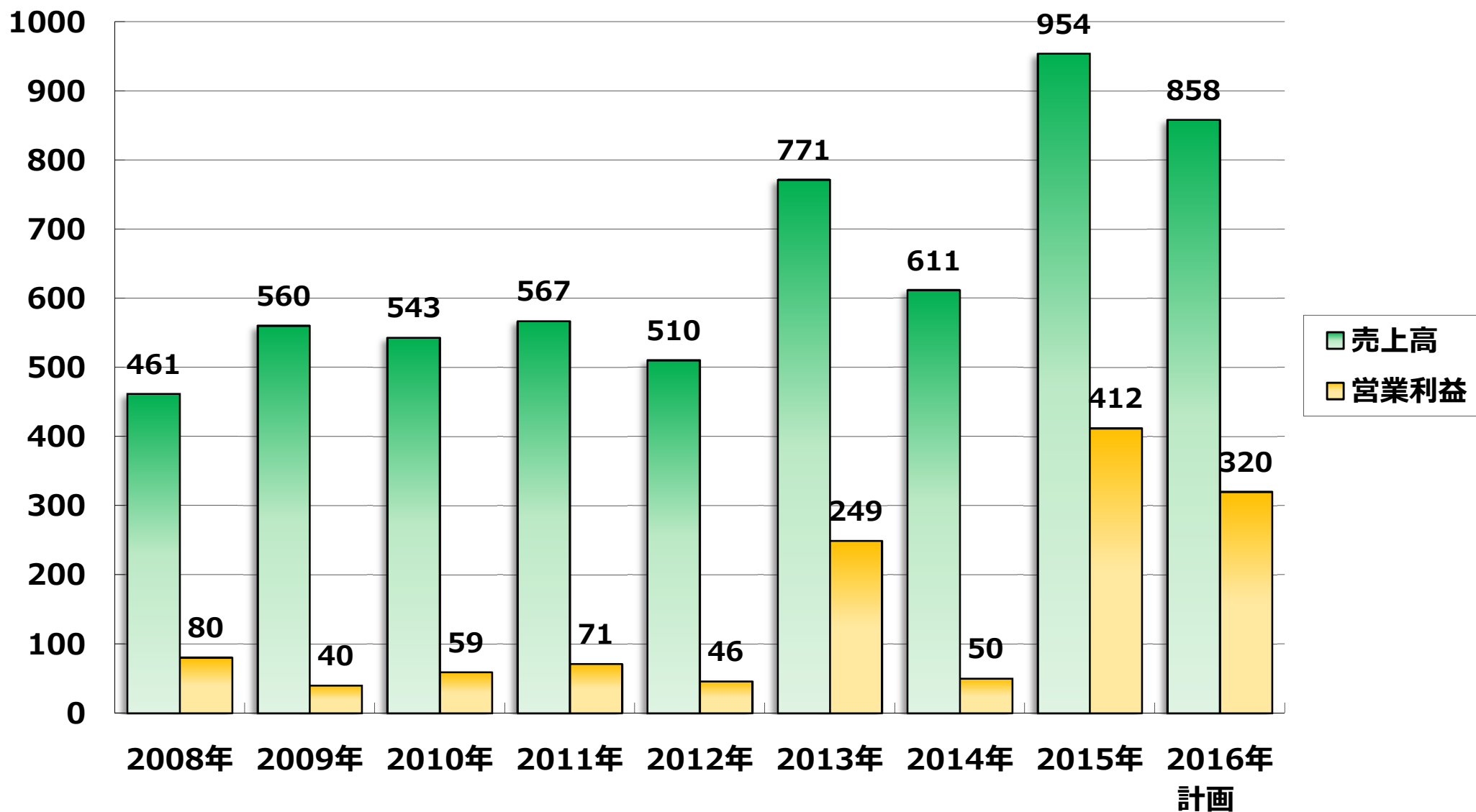


中期経営計画の基本方針

(2016年～2018年)

- メガファーマへの導出実績に基づき、複数の創薬パイプラインの導出実現
- 創薬事業の拡大を目指した自社臨床試験の開始
- 創薬支援事業における安定的な収益の確保

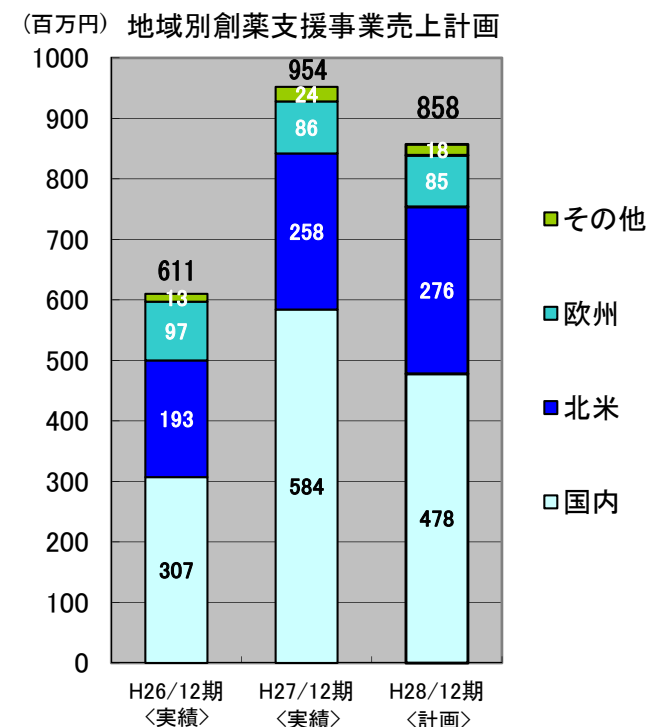
(百万円)



創薬支援事業 連結売上高 (全社)



(単位：百万円)	2014年 実績	2015年 実績(a)	2016年 予算(b)	差額 (b)-(a)
創薬支援事業	611	954	858	△95
タンパク質販売	238	324	366	+41
アッセイ系販売	41	29	30	+0
スクリーニング・プロ ファイリング受託	193	457	366	△91
RPPA事業	23	14	—	△14
ProbeX	0	6	15	+8
Crelux (仕入品目)	24	—	5	+5
ACD (仕入品目)	65	50	34	△16
NTRC (仕入品目)	16	58	28	△30
その他	8	13	13	+0



為替レート(US\$):	105.79円	121.11円	120.00円	(注)
海外売上比率:	49.8%	38.7%	44.2%	

	2016年12月期 計画	2015年12月期 実績
研究開発費	566	417
設備投資	31	11

※2016年12月期計画の内容

研究開発費：前臨床試験費用、最適化研究、創薬基盤技術開発研究など
設備投資：研究機器、基幹ソフト更新

今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



カルナ《CARNA》は、ローマ神話に登場する人間の健康を守る女神で、cardiac（心臓）の語源とも言われています。バイオサイエンス《BIOSCIENCES》は、生物学と言われ、生物学（Biology）と生命科学（Life Science）から、つくられた言葉です。「生命科学の世紀」とも言われる21世紀に向けて、カルナバイオサイエンス社とともに新しい女神“カルナ”が誕生しました

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

Tel (078) 302-7075 Fax (078) 302-6665

<http://www.carnabio.com/>

ir-team@carnabio.com

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。